

「きよす あしがるバス」ルート・ダイヤ改正について

■ 地域公共交通における「きよす あしがるバス」の位置づけ・役割

第2次清須市地域公共交通計画（計画期間：令和7年度～11年度）

【清須市の交通将来像】

清須市の交通将来像

誰もが快適に移動しやすいまち清須

これまでの取組により形成してきた地域公共ネットワークを今後も持続的なものとする中で、「誰もが快適に移動しやすいまち清須」を目指します。具体的には、人が集まる地域拠点を核として、核を繋ぐ市外交通（各鉄道路線、路線バス等）や市内交通（あしがるバス等）を充実させ、誰もが快適に移動しやすいまちづくりを進めます。

【地域公共交通における位置づけ・役割】

位置づけ	系 統	役 割	確保・維持策
市外交通	各鉄道路線 名古屋市営バス	市内と市外を結ぶ交通を担う。	市内交通と乗継を増やすための利用促進により一定以上の需要を確保。
市内交通	(各鉄道路線) <u>コミュニティバス</u> ・オレンジルート ・グリーンルート ・サクラルート ・ブルルート	<u>市内各地域を運行し、市内外の広域交通や地域拠点と接続する。</u>	市内移動での公共交通利用促進及び地域公共交通確保維持（フィーダー補助）を活用し持続可能な運航を目指す。

【目標：あしがるバスの効率的な運行と移動利便性の向上】

■ あしがるバスに期待される効果

清須市では、コミュニティバスの「きよすあしがるバス」が4路線運行しており、小回りの利くワゴン車を活用することにより、市内のほぼ全域をカバーしています。市民の生活交通を担う非常に重要な交通手段となっており、移動実態に即した「きよす あしがるバス」の継続的かつ効率的な運行により、自家用車等を利用できない人の日中の交通手段を確保するとともに、市内の移動利便性の向上が期待できます。

取組①：あしがるバスの運行

高齢者や主婦層等の移動制約者の日中の交通手段の確保を目的として、今後も継続的かつ持続的にあしがるバスを運行してまいります。料金形態について、現状の運賃を維持できるように努めますが、市民・利用者ニーズ等、あらゆる指標を参考としながら必要に応じて検討を行ってまいります。キャッシュレス決済への対応についても、決済種別や利便性等を勘案しながら導入ニーズに応じて対応を検討してまいります。

取組②：あしがるバスのルート・ダイヤの継続的な改善

あしがるバスについて、現在の4路線を基本としつつ、更なる利便性の向上に向けて、ルート・ダイヤの継続的な改善を図ります。

市内に複数ある、鉄道駅へのあしがるバスの乗り入れを継続し、ルート・ダイヤ改正時には、鉄道とあしがるバスの乗り継ぎを考慮したルート設定に努めます。

また、各路線との乗継を維持できるよう1便あたり50分程度に設定し、移動利便性を確保してまいります。